

平成30年度水戸葵陵高等学校自己評価表（総括）

平成30年度当初に策定した学校経営計画を元に、校務分掌、学年・コース、教科の全般に亘って、運営の現状と課題について分析、評価を行った。学習活動、進路指導、特別活動においては、医学部医学科合格や剣道部や書道部における全国大会上位入賞など、一定の成果を上げることができた。しかし、現状の維持に留まらない、更なる進学実績、部活動実績向上を目指していく。同時に、大学入学共通テストを始めとする入試改革に臨んでいくに当たり、英語力の伸長や、ボランティアをはじめとする校外活動への参加奨励など、新たな施策に取り組んでいかなければならない。更には、学校行事、コース行事についての検証や改善など、本年度に取り組むべき課題も明確となった。今年度は、本校教育活動の方向性として、自らの行動を多角的に捉えることができる「自己分析力」、自分の掲げる目標を達成するために主体的に行動できる「主体的実行力」、自分の考えを分かりやすく相手に伝えることができる「発信力」、他者との協力のもとに課題を解決していく「社会的適応力」の4つの資質・能力の育成を掲げ、教員一丸となった教育活動を展開していく。生徒が安心して学校生活を送り、ひとりひとりが輝くことができる学校経営を目指して、改善、改革に取り組んでいきたい。

令和元年度水戸葵陵高等学校学校経営計画表（主な重点目標）

重点項目	重点目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学科現役合格</li> <li>・国公立大学合格</li> <li>・学力向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学科合格専門チームを中心としたきめ細かな進路指導により医学科現役合格者の多数輩出を目指す。</li> <li>・大学入試問題研究や大学入試改革への対応により前年度を大幅に上回る合格者数を目標とし、難関大にも多数の合格者を出せるようにする。</li> <li>・校内テストのみでなく、客観性の高い全国規模のテストで学力の伸長を目指す。そのためにICT教育を取り入れながら常に授業の改善・工夫に努め、質の高い授業を展開するとともに、生徒一人ひとりに対応した個別指導を行っていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・建学の精神のもとでの他者を思いやる心や道德心の育成</li> <li>・規範意識や倫理観の高揚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的指導を学校生活全般を通じて強化する。</li> <li>・全教員の生徒指導に対する共通理解を図るとともに、各教員のスキルアップにより生活指導力を強化する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR活動の充実により部活動等の一層の活性化</li> <li>・学校行事を通じての本校生としての自覚・帰属意識の涵養</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会、出版委員会が中心となりPR活動や広報を通して生徒の活動について発信していく。</li> <li>・女性としての魅了度向上のための「女性講座」をはじめ、文化祭や野球応援等の学校行事に対する目的を明確に示すことで生徒が主体的に活動にあたっていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィーン・プラハへの修学旅行を通じての国際人としての資質の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感受性豊かな高校時代に異文化に直接触れることにより、ヨーロッパの地理およびキリスト教文化を中心に発展した歴史・芸術に対して理解を深める。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・国際的な視野を広げ、今後グローバルな現代社会に生きる国際人としての感覚を養う。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・グローバル教育の推進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・茨城県グローバル戦略チームによる県政出前講座の受講などによりグローバルな視点に基づいた課題解決能力を身に付けさせる。</li></ul>